

平成26年7月期(第36回) 番組審議会 議事録(抄)

開催日時 : 平成26年7月23日(水) 午後7時30分から 8時20分まで

開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内

委員の出席 : 委員総数 8名

出席委員数 : 6名

欠席委員数 : 2名

放送事業者 : 2名

側出席者

・開会

局長挨拶の後、出席確認、活動報告の後、議長から議事録署名人2名にお願いをし、了承が得られた。続いて、番組審議に入る。

1、番組審議

・議題

番組審議 番組名「やさか納涼祭PR生中継」
平成26年7月19日(土) 午後2時～4時
出演: 宮川 優、岡井 響

番組内容

毎年依頼を受け生中継等を行っています。昨年までは、会場の音声だけを伝えるという形をとっていましたが、今年は、スタジオを中心として、会場と掛け合いをしながら伝える形をとりました。また、先日他番組のゲストとして納涼祭実行委員の方に出演していただいた時の音声を交えながら放送をしました。

納涼祭は午後2時から夜の9時までですが、最初にお客さんを呼び込みたいということ、また、毎年行っているビンゴ大会の時間が夕方になったこともあり、早い時間帯で集客を狙いたいとの意図があり、午後2時からの生放送となりました。

ステージで行われるイベントの紹介や飲食店ブースの紹介など、二人の掛け合いでお届けしました。

今回は、コーデックという送信機器を使用している生放送となっていますので、音声的なことも含めお聞きいただけたらと思います。

・番組試聴、審議

意見

- ・掛け合いがよかったですね。行ってみようかなと思える掛け合いでしたね。
- ・実行委員の方の声であったり、来ている方の声入っているといいなと思いましたが、掛け合いは良かったです。
- ・掛け合いの中のくだりで、あじわいの郷でやっているという言葉が少しあっただけで、最後まで、あじわいの郷でやっているのかな？と、思いながら聞いていました。行ったことがない人にとっては、場所がわかればイメージしやすいと思うし、長い放送中の合間には、開催場所であったり、開催時間を入れる方がよいと思う。最初から放送を聞いてくれる人もいれば、途中、車の中で聞いてくれていている人もいるのでは。しつこくならない程度に言ったほうがよいと思った。
- ・現場とスタジオの二人だけとする掛け合いではなく、どうしたら伝わるかなど、伝えようとするのが分かりやすくよかったと思います。ただ、やはり、露店の人の声があったりするとインパクトもあり、なお一層伝わりやすかったのでは。
- ・スタジオからは、ゆっくりとお話しいただいて聞きやすかったですし、現場からは元気よく話していただいていたので、聞いていて楽しかったです。最初に鼓笛隊の紹介をされていましたが、もう少し詳しく、沢山ではなく、男の子が何人、女の子が何人など、人数なんかも伝えてもらえたら良かったです。
- ・非常に楽しい番組であったけれど、もっと臨場感を出すには、現場の取材の仕方にもうひと工夫あればもっともって臨場感がでて、聞く方には状況が理解できたのではないかな。
- ・おしゃべりしている所まで来てもらって話をしてもらってもいいのでは。
- ・生中継などのスケジュールがわかるようすればもっと聞いてもらえたり、イベントの集客につながるのでは。

以上意見有（抜粋）

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
特になし

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

- ① 当局事務所内に掲示
- ② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項
特になし